



YouTuberが西城へ移住体験に！！ 地域マネージャー 活躍中

西城みらいラボの活動で10月17日から10月24日の1週間、車で日本一周をされているノマドワーカーさんが移住体験に訪れました！

1日目は、西城自治振興センターにてオリエンテーション・西城散策、2日目には西城小学校6年生の総合の授業にご参加いただき、西城町の方と触れ合うことや西城や庄原の価値の再発見、また等身大の田舎暮らしを体験していただきました！

とても楽しかったというお声をいただき、双方共に最高の移住体験になりました！

『ノマドワーカー【車旅ch】』で検索お願いします！

記：地域マネージャー 清水

第2回環境福祉部会

10月6日(金)環境福祉部会を開催した。

田村会長から自治振興区の組織、プロジェクト制から部制に変更したことなど、説明があった。

1.地域で取り組む地域包括ケアシステムでは、外の自治振興区ではどのような活動をしているのか報告する。年2, 3回の研修で終わらないようにする。

2.小サロンの実施状況では、「2, 3年かかるかもしれないが、出来るだけサロンを作る事」などを協議した。

第2回地域振興部会

10月27日(金)地域振興部会を開催した。

1.地域計画策定方針について
2.鉄道コレクション特別展示会
3.ドローンサッカー体験大会【12月16日(土)庄原市西城体育館開催】等について協議した。ドローンサッカー体験大会は西城自治振興区主催で実施と決まった。

第4回役員会

11月1日(水)役員会を開催した。ドローンサッカー体験大会の実施に伴い、一般会計予算の一部変更が出席者全員賛同で承認された。

広島県教育委員会の県立高校の統廃合基準案示される！

基準案では、2年連続で、入学する生徒数が20人未満か全校で60人未満の場合に、①近隣の県立高校への分教室、②地元中学校との中高学園構想への移行、③統廃合、のいずれかにするとされています。(10月20日付け中国新聞より)

地域医療を守る会顧問で、上下高校を支援する会代表の上下町の整形外科医・黒木秀尚先生の投稿から抜粋。「政府は、新自由主義政策の一環として2025年を目標に、全国の病床数を18万床削減する『地域医療構想』を推進している。公立高校も、人口減少に伴う生徒数の減少を理由に、『公共施設等総合管理計画』に基づき、平成の市町村合併時と同じペースで統廃合している。これらの社会的共通資本は、先人が地域を持続可能にするため、陳情などを繰り返して勝ち取った地域の宝である。だから、無くすと地域は衰退し、やがては消滅しかねない。』(10月7日付け中国新聞より)

高校統廃合基準が緩和されたとはいえ、数字の論理は踏襲した考え方は基本となっています。

人口減少に伴う公共施設の統廃合は、地域だけでなく、庄原市の繁栄にもつながる重要な問題です。皆さん、西城紫水高校や西城市民病院について、声を上げていきましょう。

なみか・ほろかカードで1ポイント

西城自治振興センターで「なみかカード・ほろかカード」で1ポイント付与されます。(1日1回限り、令和6(2024)年3月31日まで)

第2回 ヒバゴン食堂

10月21日(土)西城自治振興センターで庄原市社会福祉協議会主催の「ヒバゴン食堂」が開催されました。猛暑のため野菜がなかなかに入らずメニューが決まりませんでした。手に入った旬な食材で野菜のおいしさを楽しめるメニューになりました。誰でも来られる食堂です。不定期の開催ですが、みなさん来てください。

映画「ピア」上映会のご報告

10月26日(木)ウイルホールで上映された「ピア」を鑑賞された人数は243人(13:30～162人、19:00～81人)、チケット販売枚数305枚、アンケート回収率は9割を超えました。一人暮らし相談員さん方の日ごろの取り組みの成果、感銘の強さが数字に表れました。ありがとうございました。

ドローンサッカー体験大会

ドローンサッカー体験大会が12月16日(土)庄原市西城体育館にて開催します。子どもから高齢者まで楽しめるバリアフリーな競技です。体験者募集中。詳しくは西城自治振興区まで。

西城まちづくり便136号のお詫びと訂正について

西城まちづくり便136号1ページの敬老会の記事で「大屋今櫛会」が正しいところ、「大屋今節会」と誤って記載しました。訂正のうえ、お詫び申し上げます。

西城まちづくり便

西城自治振興区だより 2023.11.20(月) Vol.137

729-5722 広島県庄原市西城町大佐734
TEL/FAX:0824-82-2175
<https://sites.google.com/view/saijoutyoukankoukyoukai>

ヒバゴンのまち 自然豊かな広島県庄原市西城町の様々な情報をお届けします。

西城町観光協会とタイアップした情報サイトです。*こちらから地域の情報などを発信します。

地域の防災力・福祉力の向上と部会活動の取り組み ~安心安全で住みやすい地域づくりに向けて~

新執行体制は半年が経過しました。

ここ数年、毎年のように百年に一度といわれるような大きな災害が発生し、想定外の被害を地域にもたらしています。皆さんも、この私たちの西城でいつ起きてもおかしくないと思われるようになってきました。災害に限らず、地域は今様々な課題を抱えています。解決のために、公助・共助の取り組みが必要です。と同時に、私たちの自助・互助が大切です。「高齢者の高齢化」もすすんで、今ほど地域コミュニティのチカラ、住民力が必要なきはなると言えます。

この6カ月の歩みから学んだことは、組織運営では、規約にそって運営それ自体と協議をきちんと丁寧堅実にやり、情報を収集・共有し、意思疎通をはかり、役員が力を合わせることを肝要だということです。そして、自治振興センターと14の自治会(及び常会)とのつながりを強めて、とくには、6年前の大きな改革であった、有志による構成のプロジェクト制から自治会の選考による委員構成の部制への変更の趣旨をふまえて、部会での協議・取り組みを自治会活動に結んでいく。また、その動きを「見える化」をするために、情報提供・周知を大切に、広報誌上で、自治会活動をしっかりと紹介する。なかでも、それぞれの歴史と伝統・特性のなかで作り上げられてきた地区の多彩な「できていること」を取り上げて共有し、自治会同士の学び合いへと高めていけるように努めてきました。

組織活動については、今年度、活動方針及び活動計画をたてるにあたり、これまでなかった自治振興区スローガン(目標)を定め、「安心安全なまちづくり」としました。その具現化のために、地域防災力と地域福祉力の向上の活動をめざします。【総務広報部】は、地区防災計画を策定し、災害の未然防止と災害時の効果的な避難誘導をする。現状は避難所開設の連絡が来ても、自治会での具体的な対応方法がわからないので、それを各自自治会でつくっていく。【環境福祉部】は、庄原市の地域包括ケアを学習し、各自自治会で仕組みを考えて、助け合い・支え合いの輪を広げていく。具体的指標として、各常会ごとに小地域サロン・居場所、通いの場づくりをめざす、として活動をはじめました。

総じて、組織運営については、一応の軌道にのり、カタチも見えてきたように考えています。組織活動については、課題が大きいだけに、越年、越年度活動として位置づけており、これからも継続して取り組みたいと考えています。

余りに問題が大きすぎて、無理だとあきらめて、誰もやらなければ何も変わらないとよく言われます。逆に、どのような困難な道でも、誰かが小さな行動を起こし、誰かと力を合わせて、知恵を出し合い汗を流せば、社会は変わるとも。自治振興区・自治会が動けば、地域は変わると信じて、活動を深めて行きます。【地域振興部】については、後号で特集します。

引き続き、どうぞよろしく願いいたします。 西城自治振興区 会長 田村 富夫

大戸自治会 大兼池紫陽花公園整備事業

10月22日(日)大兼池紫陽花公園整備事業が実施されました。この事業は年2回、およそ30年前から行われています。今年7月にはコロナ禍で3年間できなかった紫陽花の花見が行われ、食事会が開催されました。森長会長から「公園を守って行くため、これからも頑張る事業を続けます」とのことでした。

スポーツの秋 グラウンド・ゴルフ大会 西城自治振興区

10月に入り朝夕めっきり涼しくなりました。最近、温暖化により、秋が短くなった気がします。短い秋を楽しみながら、自治会の主催で開催されたグラウンド・ゴルフ大会を特集します。

五町自治会



10月1日(日)西城小学校グラウンドで五町自治会グラウンド・ゴルフ大会が開催しました。18名の参加です。前日の午後から降った雨もあがり、無事、競技は開催でき、球を打つ音がグラウンドに響きました。



10月8日(日)大佐村グラウンド・ゴルフ専用コースで「第21回大佐村自治会・第17回天戸神社合同グラウンド・ゴルフ大会」が開催しました。24名の参加で2グループに分かれて競技を行いました。応援の声も次第に大きくなり、笑い声が絶えない楽しい時間でした。

大佐村自治会



入江自治会



10月15日(日)入江自治会グラウンド・ゴルフ大会が西城小学校グラウンドで開催しました。参加者22名が8ホール2ゲーム実施しました。前日から降った雨でできた水たまりが難コースを作り、みんなで楽しみました。



栗自治会



10月29日(日)栗自治会グラウンド・ゴルフ大会が西城球技場で開催しました。参加者25人。コロナ禍のため4年ぶりの開催となりました。



庄原市自治振興区連合会「第2回グラウンド・ゴルフ大会」



10月27日(金)道後山高原クロカンパークにて庄原市自治振興区連合会「第2回グラウンド・ゴルフ大会」が親睦と交流を目的として開催されました。市内16自治振興区から参加がありました。西城自治振興区の出場者【左上から、荒川博人さん、森田清登さん、小松屈原さん、稲倉明美さん、平尾利子さん、池尻愛子さん】お疲れさまでした！



鉄道コレクション特別展示会が始まりました!!

(主催:西城町自治振興区連絡協議会 共催:西城町観光協会)



10月29日~12月1日までウィル西城1階フリースペースにて、国鉄時代から使用されていた貴重な品々約150点と「ドクターWEST総回診」写真38点を展示しています。



協力展示として「池坊 小笠原フミエ社中(10月29~31日)」、「いけばな小原流 竹島豊信社中(11月14~16日)」、「陶芸教室(11月18~26日)」、「八鉾自治振興区絵手紙教室(常設)」を同時展示しています。来場された方は「汽車通学していた頃を思い出しました」「久しぶりに芸備線に乗りたくなった」と懐かしそうに見学されていました。芸備線が走る町にしかない、数々の歴史を是非この機会にご覧ください。

子ども写真教室10月28日(土)開催



ふだん乗る機会が少ない芸備線から「こんな風景があるんだあ〜」と新たな発見を写真におさめていました。



落合駅では、ボランティアガイドの永橋さんの紙芝居・駅の話の聞きジオラマ・木次線の撮影をしました。



フォトコンテストへ応募する写真をみんなで選びタイトルをつけました。

乗って残そうローカル線 大屋今櫛会

大屋今櫛会サロンでは、10月を遠足として対象者10名、スタッフ10名、計20名で、備後落合駅を出発し、車中で弁当を食べ、木次駅までの列車の旅をし、その後バスに乗り換え「たたらば壱番地」、「道の駅たかの」と道の駅巡りをして、帰路につきました。紅葉には少し早かったですが、みなさん今回の旅行を満喫されていました。

大屋今櫛会 木山輝雄福祉部長

